



QUO カード
1000円分プレゼント!

前号の読者アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。厳正なる抽選の結果、当選された方はこちらです。**Y・Kさん K・Rさん**

保険 自動車・火災
ガン・医療・生命保険 のことなら

東京海上日動・東京海上日動あんしん生命保険代理店

(株)ティ・エフ・ピー提携代理店

TEL.072-771-7277 FAX.072-771-7278

お気軽に
ご相談ください

(株)ティ・エフ・ピー提携代理店は社会福祉法人つむぎ福祉会の運動を応援しています!

No.108

2025
10・11・12

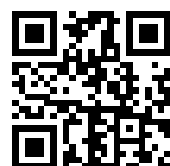
編集・発行 社会福祉法人つむぎ福祉会

編集者 中谷路子 発行者 泉本徳秀

〒546-0031 大阪市東住吉区田辺 6-4-1

TEL.06-6625-8253 FAX06-6625-8257

つむぎ福祉会
ホームページ



..... 編集後記

ちいさな家から

つむぎまつりでは普段は見ない利用者の姿を見ました。利用者の楽しむ顔、緊張している顔、ワクワクしている顔、引率として参加し必死な私でしたが、普段見れない顔にほっとし、温かな楽しい気持ちになっていました。びりかのキッズソーランの発表では、利用者のかっこいい姿を見ました。それぞれが息を合わせて鳴らす音色、頼もしい顔、親御さんや、地域の方等沢山の人のに見てもらう機会が練習への意気込みや舞台での自信あるかっこいい姿にも繋がっているのかなと感じました。

びりかでも地域と繋がる取り組みとして利用者と一緒に施設周辺地域の清掃活動や、近隣地域のイベントでの出店等行っています。つむぎまつりを経験して地域と繋がる取り組みをもっと大切にしていきたいと改めて感じました。

びりか工場 青山 友香



P2 主張 日常的な活動の積み重ね

P3 リレートーク[八尾事業所]

P4・5 特集 - 第17回 -
つむぎまつりを開催して

P6 社会福祉のあり方・障がい福祉

P7 オープンダイアログ実践のご報告

P8 みんなの作品展[生活介護カカラ]・編集後記

別紙

すきつながり
おすすめの食べ物☆

主張

日常的な活動の積み重ね 相互理解から信頼関係の構築に 地域課題の解決の担い手に

社会福祉法人つむぎ福祉会
理事長 泉本徳秀

■ 地域活動の積み重ねから

つむぎ福祉会では、事業展開にあたって「地域活動」を重要な活動であると位置づけてまいりました。



地域にお住いの皆様や町内会、学校等教育機関、企業や各種の団体とともに行事を行うだけでなく、日常のあいさつに始まり、町内会の活動への参加、特に事業所周辺の町内の清掃や防災訓練を共に行い、災害が発生した時も地域の皆さんと協力し合う関係ができることを目指しております。

事業所はそれぞれの地域の町内会に所属して町内会の役割も担い、町内会の避難訓練への参加、夏祭りのおみこし、納涼まつりに参加しています。学校との関わりでは、中学生の職場体験の受け入れや出前授業の開催、小学生のパン作り体験などがあります。これらの活動を通して事業所を身近な存在として感じ、参加してくれた子どもたちが家族とパンの購入に来られ、事業所の存在が日常の一部になってきています。

■ 互いに支え合う地域を

各事業所の日常的な活動を通して、地域の皆様とわたくしたちが様々な機会で見顔なじみとなり、行動を共にすることで相互理解を深め、信頼関係をつくっていききたいと思います。

地域で暮らす障がい者にとっては、地域の身近な見守りが必要です。地域活動や日常のあいさつを交わす中で関係性ができ、利用者の「地域での当たり前の生活」を支えることになります。

町内会への加入が減少し、地域のつながりが希薄になっていると心配する声も耳にします。その反面、自然災害が増えるとより一層、地域に求められる役割が増大します。微力ではありますが、私たちも地域の一員として役割を担っていききたいと思います。



■ まつりを通して新しいつながりを

10月18日には第17回つむぎまつりを開催し、地域の皆様と楽しい時間を過ごすことができました。つむぎまつりの目的として下記の二つを掲げ毎年開催しています。

- ① 高齢・障がい・保育など、福祉への理解と支援の輪を広げること。
- ② 舞台や遊び場、各種の出店で誰もが楽しみ交流すること。

クレオ大阪南での開催は初めてでしたが、町内会や学校などに協力を依頼し多くの方に参加していただくことができました。

新たなつながりを大切にして、地域で行われている活動にも協力していききたいと思います。

つむぎ福祉会主催 オープンダイアログ実践のご報告

前号で掲載しましたオープンダイアログ（以下OD）研修以降、つむぎ福祉会の各事業所のOD実践推進のため7～9月で取り組んだ内容をご報告させていただきます。

7月

OD実践に向けての相談会(2回開催)

8月 / 9月

各事業所のOD実践報告会

OD実践に向けてどのように進めていか相談できる機会を設け、実践への準備を進めました。

「つむぎダイアログスパーす」(月1回開催)にて各事業所OD実践の進捗報告をしました。ダイアログ的に進行し、振り返りや今後の実践に向けてのアイデアを得る時間となりました。

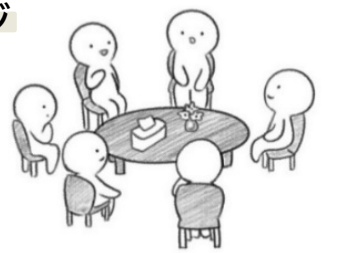
開催月日
7/23、7/28

参加事業所
計6事業所



OD実践にチャレンジ

- ・トーキングオブジェクト*を使った対話やフィッシュボウル形式での対話の会
- ・保育士と園児が1対1 描画対話時間の確保・保護者と職員2名での対話実践
- ・本部職員が他事業所の実践に参加(ODの相談、ファシリテーター補助)
- ・複数の利用者と職員・職員同士など対象を様々にしてOD実践に挑戦



*トーキングオブジェクト=対話の時間の中でトーキングオブジェクトを持っている人だけが話し、それ以外の人は聞くことに徹する。オブジェクトは何でも可(例:ペン、ボール、お菓子等)



OD実践報告会での気づき・学び

■ODに対してハードルを感じていたが、取り入れやすいところだけでも準備をして初めての実践に挑戦できた。(お菓子や飲み物の用意、トーキングオブジェクトを使った対話)

■OD実践の方法を最初から決めつけずに参加者と一緒に、作り上げていこうというスタンスで実践できたため、参加者が主体的に対話できる形になったと思う。

■自主的に参加した利用者と職員から参加をお願いした利用者で対話をしたところ、前者の方が積極的に対話に参加してくれた。

■トーキングオブジェクトを使用した対話では、オブジェクトとして使うものによっても効果が変わるように感じた。例えば、泡だて器を使った事業所ではマイクのようにして話をされたり、小さなぬいぐるみを使った事業所ではそのぬいぐるみに話しかけるように話したりされていた。(3事業所)

■職員同士でのOD実践の前段階として法人で作成したOD漫画(ホームページに掲載)を配布して読んでもらったことで理解してもらいやすかった。



その後の流れ



10月21日(火)

全事業所でOD実践の振り返りと11/1の研修に向けた準備

11月1日(土)

森川すいめいさんと村上純一さん(琵琶湖病院)を研修講師としてお招きし、各事業所の実践報告および今後の実践に繋げるための対話的なワークショップを開催。次号紙面では11/1の研修報告をお届けいたします!

障害分野 社会福祉事業のあり方

障がい部会より

親亡き後の暮らしの場と人員確保のために、
私たちの願いを届けましょう

つむぎ福祉会の日中活動利用者（107名）のうち56名は、家族とともに暮らしています。ここ数年で、支援の中心を担ってきた母親の入院・急逝により短期間で生活を変えざるを得ないケースが多くありました。移行先としては、通常のグループホームではなく障害者入居施設（サービス付き高齢者住宅のような）と称し、管理人が常駐し、ヘルパー利用で生活を送る場が増えてきています。

未入居者の特徴としては、右図の通り40歳以上が50%、支援区分5、6の方が48%となっており緊急の対応が求められています。30歳代の未入居者は18名と高く、スムーズに自立をめざすためにはこの年代からの対応が求められています。

親離れ・子離れを考える

早期の地域移行準備の開始

親の限界によって60代で入居が急増する傾向があるため、そうなる前の「早期の地域移行準備」に着手し、子（利用者）の暮らしの場を確保することが不可欠です。

「相互依存」の構造からの脱却

親子の間で生じやすい「私がいなければ」「親がいないと不安だ」と感じる「相互依存」の関係を認識し、そこから脱却する必要があります。

外部支援の積極的な受容

「私がやらなければ」という考え方で支援を拒み、外部支援を避けてきた親のパターンが緊急入居を招く一因となっています。早い段階から外部のサポートやサービスを積極的に受け入れるために支援者からの情報提供や家族会での学習機会を作り、職員家族で考える場を作ることが必要です。

「相互依存」の脱却や外部支援の活用には、支援者が家族に寄り添い、支援を受け入れられるように各方面と協力していく必要があります。

生活の場を取り巻く現状

重度者に対応できる施設の不足

重度者を受け入れ可能な入所施設や重度対応型グループホームの不足が現状の課題であるため、その受け皿を質・量ともに拡充していく必要があります。

職員ヘルパー不足

法人内では職員不足により、十分な支援を提供できない状況にあります。採用と定着が課題です。また他法人の事業所では、突然事業の閉所の連絡がLINEで伝えられ、支援が受けられず途方に暮れる状況が発生しています。

国や行政に声を上げていこう！！



家族だから面倒見るのが当たり前。GHがあればそれで十分でしょうか？一人ひとりの願いを叶えるためには、家族と事業所の努力だけでは実現しません。現状や要望を訴えていきましょう！



大阪府交渉

12/1(月) 福祉関係
12/10(水) 教育関係

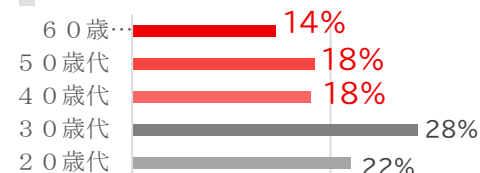


第35回
ヒューマンウェーブ集会

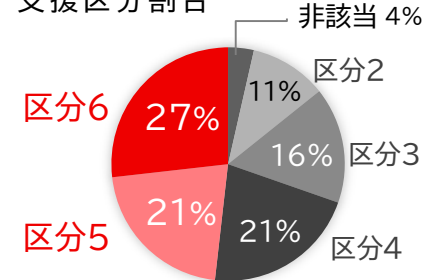
12/9日(火) 10:45～
大阪城公園 教育塔前広場

つむぎ福祉会利用者
グループホーム未入居グラフ

年代割合



支援区分割合



私たちの**押しポイント**を紹介☆

リレートーク

八尾事業所の **押しポイント**

笑ってつながる場所がある、
だから一歩を踏み出せる



笑ってつながる

ゲーム会

ボードゲームやテレビゲームをみんなで遊ぶ「ゲーム会」を、定期的に行っています。「家族や職員以外の人と一緒に過ごしておしゃべりしたり、悩みや不安のことばかりじゃなく、思いきり笑える時間があったらいいな」——そんな思いから始めた取り組みです。



はじめてのゲームは、みんなで協力しながらルールを理解してプレイする。

Game



格闘ゲーム！コントローラーを握る手に力がこもる！



ハイスペックな
ゲーミング PC
も完備！



ボードゲーム、
まだまだたくさん
あります！

人と話すのが苦手でも、自然に会話が生まれ、笑顔でつながれる時間です。みんなで笑い合える場が、「一歩踏み出してみよう」という気持ちにつながってほしいです。

八尾事業所 永福 沙都子/佐藤 暖



八尾事業所

事業所概要



中河内若者サポートステーション 八尾 サテライト

「働きたいけど不安がある」——そんな気持ちに寄り添います。サポステは、あなたと一緒に「働く準備」を進める場所です。



八尾市若者相談窓口

不登校やひきこもり、仕事や人間関係などのお悩みに、専門スタッフが子ども・若者のご家族が安心して過ごせるようお手伝いしています。

八尾事務所では、公認心理師やキャリアコンサルタントが、社会とのつながりや将来に悩む方へカウンセリングや就労支援を行っています。個別面談だけでなく、検査を通して、自分の得意なことや苦手なこと、向いていることや少し工夫が必要なことを整理し、自己理解や今後の進路・働き方を考える材料にします。

2025 10/18 第17回 つむぎまつり IN クレオ大阪南



♪♪♪ ムンイェ ヲテン音楽でみんなノリノリ♪
歌って踊って会場は大盛り上がり！

今年は平野区民センターからクレオ大阪南に会場を移し、喜連中学校や新たな団体とのつながりをつくることができました。特に喜連北・喜連西町会ははじめ校区の皆さんのご協力を得て、地域の方々にお越しいただくことができました。

年々地震や台風などの不安が強まり、地域のつながりの重要性が高まっています。つむぎまつりを契機に、お互いを知り、頼り頼られる関係づくりを構築する一助になればという思いで、今後も開催していきたいと思っています。



虹色のかげはし

仮面ライダーとオスカルのコスプレで
会場を大いに盛り上げて
くださいました☆



歌たいそう



観客のみんなも一緒に
歌って体を動かしました♪



司会の
片岡さん☆



みんなと発表できたことが
楽しかったです。
みんながいたから
できました。



ポンチセブリーか
つむぎジョイフル

喜連中学校吹奏楽部

「中学生の吹奏学演奏には涙が出ました。若い人たちの力を見せて頂き高齢者も頑張りたいですね。」
「女の子のドラムが上手かった。」
「マツケンサンバ楽しかった」
など、アンケートで感動したという声をいただきました。プロ顔負けの素晴らしい演奏に盛り上がり、もっと聴きたかったと思いました。自然と体がリズムに乗り、舞台と一体になって楽しい時間を過ごすことができました。ぜひ、次回も出演していただきたいと思います。

program

- ・レ・ミゼラブル
- ・怪獣
- ・風になりたい
- ・マツケンサンバ など



みんな、よく頑張った。大きな声で歌えてよかった。
次回はもっと大きな声で歌います。



そらまめ作業所

平野区マスコットキャラクターひらちゃん♪



福引大抽選会

一等のトラベルギフトカード
2万円分にみんな期待大！
会場が大いに沸きました！



舞台以外の様々な場所で出店場所を設け、どこでも楽しめるようなまつりにしました。

1階赤ワイエ

バザーでござーる Nagi coffee
そらまめ作業所 パン工房エビ
そらまめ作業所家族会 高さんのお店
SOLUNA (ソルーナ)
就労継続 B 型レインボーワーク



1階展示ギャラリー

特定非営利活動法人たすかるワン
しずく色×ケアビューティー多美
ピースネット平野



2階会議室

子どもの遊びのコーナー



3階多目的室

東住吉みんなでスポーツプロジェクト



ポッチャ体験



ヨガ体験
アビヤーサ

つむぎまつりに参加してみて



生活支援センターコットン 川崎 真吾

実行委員として昨年度から準備を重ねた甲斐もあり、皆さまに楽しんでいただけるまつりが開催できたと感じました。次回も皆さまに沢山楽しんでいただけるよう創意工夫してまいります、乞うご期待ください！



ポプラ保育園 土井

遊びコーナーにたくさんの方が遊びに来てくれました。応援したり、お話したりしながら地域の方や利用者の方と関わることができました。また、たくさんの笑顔を見ることができて楽しかったです。



ヨガ体験アビヤーサ 森 真弓 先生

ヨガ体験教室では、ボランティアの方にアシスタントとして参加をお願いしました。沢山の方に関わっていただき温かい雰囲気の中でヨガを行えました。つむぎまつりを通してこれからも笑顔の輪がひろがりますように。